

先生がたがかわられました

4月1日付けで新潟県の教職員が異動し、本町関係は、下の表の通りです。写真は新たに着任された校長先生。



| 学校名 | 職名 | 氏名 | 転出校名 | 職名 | 氏名 | 転入前校名 |
|-----|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|
| 黒鳥小 | 教頭 | 西方秀学 | 西蒲西川町 升湯小 | 教頭 | 小林典樹 | 西蒲吉田町 佐渡山小 |
| 〃 | 教諭 | 岩田マサノ | 退職 | 教諭 | 小林美恵子 | 栃尾市 西谷小 |
| 〃 | 〃 | 川上卓郎 | 東蒲上川村 七谷小 | 〃 | 藤木義憲 | 新採用 |
| 〃 | 助教諭 | 阿部聖子 | 任期满了 | 〃 | 長橋さよ子 | 中魚川西町 仙田小 |
| 〃 | 養護助教諭 | 浜中雅子 | 〃 | 養護教諭 | 平田牧子 | 新採用 |
| 木場小 | 校長 | 沢全二 | 退職 | 校長 | 熊倉敏郎 | 南魚湯沢町 三国小 |
| 〃 | 養護教諭 | 高野和子 | 豊栄市 長浦中 | 養護助教諭 | 藤永美智子 | 新採用 |
| 山田小 | 校長 | 橋本三郎 | 西蒲味方村 味方小 | 校長 | 田原正吉 | 十日町市 吉田小 |
| 〃 | 教頭 | 藤田芳郎 | 退職 | 教頭 | 白倉達雄 | 西蒲湯東村 西小 |
| 〃 | 教諭 | 内藤裕子 | 西蒲味方村 味方小 | 教諭 | 山際フミ | 月潟村 月潟小 |
| 〃 | 〃 | 渡辺里美 | 古志郡山古志村 竹沢小 | 〃 | 森田実枝 | 白根市 根岸小 |
| 〃 | 〃 | 土田キヨ | 退職 | 〃 | 谷黒靖 | 新採用 |
| 〃 | 養護教諭 | 山田史子 | 柏崎市 新道小 | 養護教諭 | 鈴木和子 | 新採用 |
| 大野小 | 校長 | 渡辺忠夫 | 退職 | 校長 | 齊藤一義 | 新潟市 山潟小 |
| 〃 | 教諭 | 横山利一 | 中蒲亀田町 亀田東小 | 教諭 | 隅田二十四 | 中蒲亀田町 亀田小 |
| 〃 | 〃 | 登石ムツ子 | 白根市 新飯田小 | 〃 | 早川アサ子 | 味方村 味方小 |
| 〃 | 〃 | 北沢昭松 | 西蒲巻町 巻南小 | 〃 | 宮田由郎 | 西蒲西川町 曾根小 |
| 〃 | 〃 | 山田邦夫 | 白根市 根岸小 | 〃 | 白倉辰男 | 燕市 燕東小 |
| 〃 | 〃 | 高橋稔 | 西蒲巻町 巻北小 | 〃 | 栗林幸英 | 西蒲吉田町 吉田南小 |
| 〃 | 〃 | 滝沢有子 | 栃尾市 栗山沢小 | 〃 | 帆苺嘉男 | 西蒲巻町 巻北小 |
| 〃 | 養護教諭 | 加藤テル子 | 新潟市 笠木小 | 養護教諭 | 市嶋昌子 | 白根市 根岸小 |
| 〃 | 栄養職 | 上村延子 | 新潟市 小針小 | 栄養職 | 水野浩子 | 長岡市 千住小 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 助教諭 | 曾武川隆 | 新採用 |
| 板井小 | 校長 | 渡辺尚 | 佐渡新徳村 行谷小 | 校長 | 高橋丈夫 | 佐渡両津市 片野尾小 |
| 立仏小 | 教頭 | 風間茂 | 中蒲亀田町 亀田西小 | 教頭 | 広川正昭 | 長岡市 北中 |
| 〃 | 教諭 | 風間素夫 | 西蒲月潟村 月潟小 | 教諭 | 高橋久二 | 燕市 小池小 |
| 〃 | 〃 | 結城照男 | 西蒲西川町 鎧郷小 | 〃 | 勝山敏夫 | 西蒲中之口村中之口西小 |
| 〃 | 〃 | 広川典子 | 新潟市 小瀬小 | 〃 | 斉藤京子 | 新採用 |
| 〃 | 〃 | 宮崎美子 | 退職 | 〃 | 中沢毅 | 新採用 |
| 黒埼中 | 校長 | 村上俊介 | 新潟市 曾野木中 | 校長 | 中沢博 | 新潟市 寄居中 |
| 〃 | 教諭 | 磯野昭二 | 新潟市 上山中 | 教諭 | 水沢洵 | 西蒲巻町 巻中 |
| 〃 | 〃 | 田村葉子 | 白根市 白根第一中 | 〃 | 武田キヌ | 白根市 白根第一中 |
| 〃 | 〃 | 渡部文男 | 新潟市 白新中 | 〃 | 浅妻敬次郎 | 白根市 大鷲中 |
| 〃 | 〃 | 野村アサ子 | 新潟市 赤塚中 | 〃 | 小泉和枝 | 新潟市 両川中 |
| 〃 | 〃 | 大橋優子 | 西蒲弥彦村 弥彦中 | 〃 | 青木昌英 | 西蒲月潟村 月潟中 |
| 〃 | 〃 | 神田正俊 | 中魚中里村 貝野中 | 〃 | 加藤久 | 新採用 |
| 〃 | 〃 | 皆川鶴代 | 新潟市 石山中 | 〃 | 有田直子 | 長岡市 関原中 |
| 〃 | 講師 | 鴻田利治 | 任期满了 | 〃 | 関久志 | 新採用 |
| 〃 | 〃 | 加藤貞子 | 〃 | 〃 | 谷均 | 新採用 |
| 〃 | 教諭 | 田村功 | 新潟市 山の下小 | 主事 | 真島誠 | 北魚入瀬村 入瀬中 |

黒埼町婦人協議会役員

- 会長 山際 イツ
- 副会長 五十嵐チエ子
- 会 計 泉井 ヨ子
- 会計監査 萩野 文子
- 事務局長 大橋 タノ
- 事務局 上杉 栄子
- 事務局 五十嵐チエ子(兼務)
- 事務局 教育委員会

講演会(昨年は八月に日銀新潟支店の大谷敏彦氏による「貯蓄と生活」十五名参加)親和会慰問(十月)などの事業を行っています。このように多くの事業を婦人協議会が手掛けているのですが、アンケートを見ればわかるようにさまざまな問題があります。

例えば、事業にすんで参加する人はわずかに二パーセント。過去二年間に参加したことのある人は半分以下。なんらかの仕事をしている人が六七パーセント。「声」を見ますと、もっと現実に婦人協議会の姿が浮かびあがってきます。問題は次の二点にまとめられます。(あまりに奉仕活動が多すぎる。)

一、役員になりたくない。

二、役員になりたくない。



三月七日(日)、黒埼町婦人協議会総会が開かれました。

多くの地区婦人会が脱退した理由もこれでしょう。問題の背景には、婦人も勤めやパートなど仕事をもち忙しいことや社会的変化により地域血縁関係が崩壊してしまつたことがあります。(地区婦人会が婦人協議会より活発な理由はこの関係、すなわち近所づきあい)でしよう。もし、テニスをしたい人ならば、婦人会に参加せずテニスサークルに入会するわけです。

三月七日(日)、黒埼町婦人協議会総会が開かれました。出席し、五十六年度事業報告、決算報告を行い、五十七年度予算と事業計画が決まりました。

その事業計画は、ほとんど今までのものと違うものではありません。が、重点活動として地域の美化運動を推進していくことになりました。(三月、四月に各地区で空きかん拾いが行われました。2ページ写真)。

婦人協議会(および地区婦人会)が町のために必要なのは確かです。黒埼町は大きく変わります。古い地域社会、部落社会は崩壊しつつあります。そして崩壊と同時に新しい地域社会(コミュニティ)が生まれなければなりません。その中心的役割をこなすに欲しい婦人会なのです……。

アンケートに寄せられた声(抜粋)

「地区でできないような講演、講習、ボランティアなどをやって欲しい」役員をやって参加して理解できた。もっとみんな参加してほしい(以上山田上)

「もっと広報などで知らせるべきだ」文化、スポーツをやりたい気持ちはあるが、昼間は仕事で参加できない。「いろいろな世代が参加できたらよいと思う」「子供が保育園に行くようになったらスポーツをやりたい」地域の婦人部の活動があまり活発でない。「事業は日曜日にして」(以上寺地中)

「会場が遠すぎる」「町部と農村の仕事や環境の違いが大きすぎるので、地区活動でじゅうぶんである」「役員の任期を2年から1年にしてほしい」「町の行事にもしかたなく参加している」「町部の人たちとなじめない」「会員ならばもっと協力してほしい」「婦人協議会とは何なのかわからない」(以上木場)

「参加したことがない」「役員のかたが声をかけてくださいますが、忙しいのと気が進まないで出席していません」「農家と町では教養に差があり、思うように話せない」(以上板井)

「たいへんよくやっていると思います」「文化、スポーツに重点活動をしなないと参加人数が減るばかりだ」「非行問題などは婦人会でも対策をたてるべきだ」「今のところよい活動をしていると思います」「研修をもっと行いたい」(以上鳥原本村)

「とかく役員の会になりがちなので、なんとかしたい」「活動を見るとすばらしいと思いました。今後がんばってください」「働いているので参加できないこともある」(以上大野)

「参加したくとも連絡がない」「老後にそなえてなにかやりたい」「総会にはもっとたくさん出席すべきである」(以上金巻)

「役員は一生けん命やっているのに会員はついてこない。どこに問題があるのか」「婦人協議会に加入しなくてもよい町内があるのは不公平です」「空きかん拾いは計画的にやりたい」「年に1、2回全婦人が集まってスポーツ大会をしたい」「関心がなかったことを反省しています」「町に文化会館が欲しい」「若い人たちの参加を望みたい」「何をしているかまったく知りません」「婦人会は必要なのか」「婦人の知識や教養を高める事業をして欲しい」「とにかく参加して欲しい」(以上大野)

時代を見きわめて

婦人協議会事務局

昔は婦人会が青年団と並んで地域のリーダーとして活躍してきていた。農家の主婦ならば、農繁期を除けば婦人部の活動ができるだけの時間がありました。

しかし、現在そんな時間を持つ人は少ないでしょう。生活が豊かになるとともに、その豊かさを維持していくためパートや勤めに出かけなければならなくなりました。また、家には子供を育てる老人がいらしくいけません。時代が変わったのだといつては

まあ、それまでですが、世の中を見渡せばたくさん問題があります。そのたくさん問題の内いくつかは婦人が解決できる、いや、先頭にたつて解決していかなければならないものです。

例えば、青少年の非行化、女性の地位向上、有害食料品の追放。一人ではできなくともみんなが考え行動していけばなんとかなるのでは無いでしょうか。

世の中は変わっています。私たちの町だけを見ても、今年の秋には新幹線が通ります。身近なこ

みなさんに協力していただいたアンケートを見ますと、忙しい毎日がかがえ、とても婦人会どころではないという人も多いことがわかりました。しかし、婦人会に何かを期待しているという人も少なくありません。

アンケートの結果は今後の活動にじゅうぶん反映させていきたいと思えます。現在の厳しい世相の中に、婦人団体の組織活動をいかんにかに発展させてゆくか、みんなが考えたいと思えます。より明るく、より豊かな明日のために。